

低速・小型の自動配送ロボットについて

令和2年5月

内閣官房日本経済再生総合事務局

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、海外では、**無人の低速・小型の自動配送ロボット**が、食料品等を家庭に配達するサービスが行われている。

無人の低速・小型の自動配送ロボットの例 (スターシップ・テクノロジーズ (米国))



日本経済新聞「コロナ禍、代行ロボの出番」(2020年4月24日、朝刊)

- 米アリゾナ州のピザ店「ベネチアズ」。新型コロナの感染対策に悩む同店に4月初め、助っ人が加わった。米新興企業スターシップ・テクノロジーズ製の小型配送ロボット11台だ。ふたのついた荷台にピザを載せ近隣の家庭まで無人で運ぶ。
- 米国では3月半ば以降、多くの州が外出制限令を出しレストランの店内営業を禁じた。ベネチアズも持ち帰りか配達で対応していたが「次のレベルのコンタクトレス（非接触）配達になる」と同店の責任者は話す。客の評判は上々だ。
- スターシップの担当者は「非接触配送の需要はここ数週間で急激に拡大した」という。同社のロボットは3月下旬以降、首都ワシントンの食料品店の配達や、カリフォルニア州南部でのタピオカミルクティーの配達でも使われ始めた。

低速・小型の自動配送ロボット（令和2年5月14日未来投資会議）

<論点メモ>

2. 低速・小型の自動配送ロボット

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い宅配需要が急増し、人手を介さない非接触型の配送ニーズが高まる中で、**無人の低速・小型の自動配送ロボット**を活用した新たな配送サービスの実現が期待される。（例えば、スーパー・飲食店や小包の配送拠点から周辺の消費者の自宅への配送や、定期的な集荷・運搬業務に活用することを想定。）
- ・海外では実際に公道を走行して配送に用いる事例もある一方、我が国の制度（道路運送車両法、道路交通法）では、（歩道で走行する時速6km以下の）低速で、かつ小型の無人自動配送ロボットについて、制度上位置づけられておらず、公道での実証も行われていない。ようやく、本年4月に、監視・操作者が近くでロボットを見ながら追従する「近接監視・操作」型に限り、歩道走行を含めた公道実証を行うことができる枠組みが整備された段階。
- ・我が国においても、**社会的受容性を確認するとともに、収集したデータを踏まえて、継続的なサービス提供が可能となるよう、「遠隔監視・操作」型の公道実証を早期に行い、公道走行を実現すべきではないか。**

低速・小型の自動配送ロボット（令和2年5月14日未来投資会議）

＜国家公安委員会委員長＞

- 自動配送ロボットの実用化のためには、安全な走行の確保と、車道や歩道を走行することについての国民の理解が必要と考える。
- 警察としては、公道実証を通じて、**安全性の向上と国民の理解**が進むよう、関係機関等と積極的に連携し、検討を進めてまいりたい。

＜国土交通大臣＞

- 低速・小型の自動配送ロボットについては、歩道を含む公道上での安全な走行が実現できれば、荷物の受渡しにおける人と人の接触機会の低減に役立ち、人手不足対策にも資するものと考えている。
- 国土交通省としては、公道実証における自動配送ロボットの**安全性の確保のあり方**に関する検討に積極的に協力するなど、実用化に向けた取組を支援していく。

＜経済産業大臣＞

- また、人手を介さない配送ニーズへの対応のため、自動配送ロボットの公道走行実証について、**関係省庁と連携し、早期に実現**を図る。

＜内閣総理大臣＞

あわせて宅配需要の急増に対し、人手を介さない配送ニーズが高まる中、**低速・小型の自動配送ロボット**について、**遠隔監視・操作の公道走行実証を年内、可能な限り早期に実行**する。**関係大臣は具体的に検討を進めていただくよう**願います。